

# CMS 大信者の猛解説書

伝雲寺愁雷

## コンテンツマネジメントシステムについて

---

CMSは、コンテンツマネジメントシステムの英語の頭文字をとったものだが、日本語に直すと「内容管理機能」とでもいうべきだろう。

似たような言葉としてサイトマネジメントシステムがあり、CGIも、場合によってはこれに分類されることがあって、大変わかりにくいのだ。

ただ画像をアップロードしたりするだけの機能ではCMSとはいえず、知恵袋などでもたびたび勘違いなされている方が多い。

CMSは、コンテンツマネジメントシステムという意味だけではなく、キャッシュマネジメントシステム、カラーマネジメントシステムなど、ともにデジタル分野の用語と混同されがちで、質問関連のサイトを見てみると、この混同による質問の食い違いが散見される。

どれも正解なのが厄介なのであり、「CMSってどんなのがあるんですか？」との質問に答えた方が「キャッシュマネジメントシステムでしょうか？それなら・・・」と、違う受け答えをしていた。

CMSだとよく言われるための条件と特徴には次のようなものがある。これらを満たしてなくても、開発企業がCMSだと言い張っている可能性もあるので注意しておこう。

- ①ファイルがFTPなしでもアップロードできる
- ②ブロック移動などによるデザインの変更が簡単
- ③サーバー上、またはブラウザ上で編集、完了できる
- ④サービスではなくソフトとして位置づけされている
- ⑤CMSの多くがGPLライセンスで適用されている
- ⑥モジュール追加で機能を拡張できる
- ⑦稼動するために必要なファイル数が多い

CMSにはライセンスが多種多様にわたるため、多くのCMSの条件を満たしている場合は、高額にする場合がある。まあ、どこの技術屋もそう考えるだろうがね。

## サーバーの条件

---

サーバーは、「[MYSQL](#) 搭載サーバー」であり、「[アパッチ](#)専用」であることが条件のCMSが大半を占め、MYSQL搭載のサーバーの場合、他のデータベース管理システムも存在することがほとんどである。

「mysql」を管理する「phpadmin」が標準装備されていないサーバーほど無意味なサーバーはないので、自分でインストールできない場合（管理者がインストールを禁止または制限している場合）、諦めて乗り換えたほうがいい。

phpかcgiで動作するがCGIだと停止したり、セーフモードなどが聞かない場合が多く、画面が真っ白になりやすい欠点がある。phpで動かしてもいいところが大半だが、初期のころはphpが発達してなかったため、cgi運転のサーバーも多かった。

ホスティングによるサーバーレンタル会社は、サーバーのOSが[リナックス](#)系であることが多く、ホームページ制作会社が勧めるのもほとんどがリナックス。

なお、余談であるが、「あなたのパソコンがウインドウズだからといって、サーバーのosがリナックス系である場合、リナックス系、ユニックス系のフリーcgiやphpは使用できる」ことも留意しておこう。 まあ、自分のパソコンで編集できないソフトは扱いつらいけれど。

## 動作確認済みの罫

---

CMSはサーバー上で運営されるものがほとんどであり、そうでないものはホスティングサービスと別の意味で呼ばれたりする。

だがこのサーバー上での運営が曲者で、サーバー提供会社が「動作確認済み」と宣言しているCMS以外にも動作が確認できることがある。

たとえば、某サーバーのCMS確認済み一覧ではショッピング構築用CMSが一つもなく、インストールできないのかと思いきや、ほとんどインストールできた。

それは自分たちで出しているショッピング機能の購入者を減らさないためにあえて伏せているのであって、そこを自分で実践して見抜かないといけない。

インストールしても数ヶ月も音沙汰がないことから、インストール自体はオッケーで、メンテナンス時にCMSがインストールされていることくらいわかるものだ。

わかっているのに動作確認済みとしないのはそれぞれの理由があり、その多くが競合しているCMSはインストールさせたくない、できれば自分たちのを使ってほしいという思惑が見え隠れしている。

ただし、私はサーバーが運営しているやつは値段が高く、CMSのほうが質が高いため、そちらを永遠と使っているのだが、皆も自分のサーバーで使えるかどうかこっそり調べてみよう。

## よく遭遇するCMSの恐怖

---

### ①画面真っ白

画面が真っ白の場合はサーバーのメモリ容量に起因していることが多い。たぶん更新しても真っ白なので、サーバーのメモリ容量とサーバー自体の容量を変更しよう。その容量にあわせて、CMSの容量も変更しなきゃいけない可能性がある。モジュールが未対応の場合も起こる可能性あり。

### ②文字化け

文字化けの原因はモジュールの文字コードによるもの、mysqlなどのデータベースの文字コードによるもの、サーバー自身の文字コードセットによるものがあげられる。

全部文字化けしている可能性があるので、もう一度インストールしたほうがいい。文字コード変更は量が多いので面倒だ。モジュールの場合は、文字化け前にインストールしたモジュールだけを削除したほうがいい。

### ③サイトの下部に大量の文字が並んでいる

それはPHPのデータがちゃんとデータベースに入っていないって事だな。後、パーミッション変更したら直る場合もある。

下に出るのは、ほとんどエラーで、その原因は多種多様である。上記のような場合もあるし、CMSのバージョンが未対応の場合に起こることがある。で、一般人にも見えるので、場所が特定されちまう可能性もありだ。

### ④サイトにアクセスできない

モジュール同士の「セキュリティ」の設定のせいで、管理者だけログインできないなどの非常事態が起きることがある（drupalとxoopsが特に）。私だけでなく何人かが被害にあっているようだ。

違うなら、サーバーのメンテナンスを怪しんだほうがいい。こうなったら、飼い犬に食われたような気分になる。

### ⑤ファイルを削除しろといってログインできない

いや。該当するものを削除しようぜ。

## 自宅サーバーで運営する場合の注意点

---

自宅サーバーで運営する場合の注意点を列挙する

- ①メモリ2G、と容量100Gは最低でも確保したパソコンでなければならない
- ②完全にサーバー用に構築する
- ③ウインドウズサーバーを使用する（別に信者ではないが、試用期間が最大延長240日はお得）
- ④アパッチを使用する（CMSのため）
- ⑤SSLを導入する（これしないと痛い目を見る）
- ⑥専用ファイヤーウォールの構築（これがないと最悪の場合、不正アクセスの標的にされる）
- ⑦安定した回線(アクセス数がアップするにつれて、通信とかでサーバーダウンする可能性あり)

## 主なCMSの一覧(1)

---

### [openpne\(オープンピネ\)](#)

インストール難易度上級のコミュニティ構築CMS。デザイン変更が容易だが、インストールには手間が掛かる手段をとらねばならない。しかし、サーバーの多くはOPENPNEの自動インストールをサポートしている。

### [drupal \(ドルーパル\)](#)

ポータルサイトやブログサイトなどあらゆるサイトを構築できるが、コミュニティによるサポートが日本バージョンではばらばらであり、連携が取れていない。

drupal日本語版サイトは内紛が起きたり、主催者が個別に切り盛りしていたりと足並みが揃わずにいる。しかし、現在のところxoopsに抗う戦力なのは間違いない。

### [xoops \(ズープス\)](#)

日本にCMS革命をもたらした重要なCMS。学会や組織機関、コミュニティなど多くのサイトに使われており、ほとんどのCMS管理者がxoopsで練習する。しかし、多くのサイトの場合、xoopsのロゴマークをほったらかしの場合が多い。

日本語モジュールが数多くあり開発者にとっては助かるが、欠点といえば、日本語版は二つのバージョンがあり、そのバージョンごとに特化したモジュールがあるため、最初のバージョン選びに苦悩することがある。

### [joomla \(ジュームラ\)](#)

世界一のdrupalと同じく世界一の称号を獲得したCMS。しかし言語の壁は重く、英語圏内のサイトが楽に作れるのに対して、日本語版サイトは放置気味でやめたサイトが多い。

## 主なCMSの一覧(2)

---

### [ojs \(オープンジャーナルシステム\)](#)

学術雑誌作成を目的としたCMS。レイアウト変更が容易であったり、査読、管理、写真の入れ替えまで幅広い。日本に需要が少なく、ほとんどが学会や図書館で使用されているため、あまり知られていない。

悲しきかな。ウィキペディアのCMS一覧にのらないなど不都合な役回りをしていることが多く、日本のテンプレートも少なかった。しかしそれだけテンプレート製作会社にとっては敵が少ないといえるだろう。

### [moodle \(ムードル\)](#)

メジャーなeラーニング構築サイト作成用CMS。講座だけかと思いきや、wiki、辞書、ブログ、ディスカッションを共有できる。小テスト作成機能では、時間制限を設けたり、課題提出なども可能。

主に小学校などの学習機関で勢力を拡大中であり、その拡大の勢いが半端ではない。xoops、drupalと同じ用途で扱われることもある。

### [mediawiki \(メディアウィキ\)](#)

wiki文法のサイトを作るにはうってつけ。というか、ウィキペディアのそもそもの母体となったものであるため、アクセスアップも半端ではない。ちなみに最初に導入してアクセス数を見てみると一日で100増えていたときは、まさかそこまで考えて・・・が、感想だった。



## 主なCMSの一覧(3)

---

### [zencart \(ゼンカート\)](#)

後発の「eccube」にいいところを持ってかれそうなショッピングサイト構築用CMS。それでも、日本でメジャーであることに変わりはない。

しかし起動してすぐにphpのサンプル文章をあちこちらで変更せねばならず、そのサンプル文章が役に立たないため面倒なことになる。

それに加えて携帯サイト兼用は、金払わないとだめなので（自分でモジュール作ればokだけどね）、少々融通が利かない。

### [eccube \(イーシーキューブ\)](#)

日本製国産CMS。デザインの変更やファイル管理などに力を入れているほか、利用規約を打つところなどもある。CSVの管理が一番楽など、管理システムの充実化が激しい。

ショッピングサイトCMSだが、工夫すれば普通のサイトも構築できそう。さらに商品検索や会員検索を管理画面で簡単に行えるので、どこにいったかわからないという方にもお勧め。

### [mynets \(マイネットス\)](#)

クローズドSNSに特化したCMS。クローズドSNSとはミクシーが例として挙げられる招待した方のみ参加できるSNSであり、モバゲータウンはその逆のオープンSNSにあたる。

googleのアプリキーを持っていなかったりするとインストールできないなど何かと面倒だが、セキュリティ保全のためには仕方がないといえる。

### [modx \(モドエックス\)](#)

アジャックスやデザインの導入を簡単にするために作られたCMS。とあるCMSの主催サイトから反乱、独立（プロジェクトがそのCMSを追い抜くのではないかという恐怖から妥当記事を主催者が削除などしたため、抹殺されかかったプロジェクトを独立させることにした）し、そのCMSと拮抗する勢力を身につける。

二、三箇所特殊タグを植え付けることで、デザインをそのまま流用できるというメリットを持ち、デメリットはwikiのような多くのページを扱えないことであった。

### [modx独立](#)

## 主なCMSの一覧(4)

---

### [Nucleus \(ニュークリアス\)](#)

ワードプレスと初期のデザインが似ているブログ構築CMS。使いやすさはこちらが上だが、有志の勢いでワードプレスにいいところを持っていかれた感がある。

プラグイン、スキンなどブログ構築に秀でていて、ワードプレスとそん色ない。現在は日本の愛好家も生まれているため、コミュニティは充実しつつある。

### [WordPress \(ワードプレス\)](#)

有志やファンによる宣伝が一躍ワードプレスを有名にする。世界産のブログCMSだが、割と日本人に人気があり、テンプレートサイトも飛ぶ鳥を落とす勢い。

会社の多くがワードプレスを勧めており、ムーバルタイプと戦力を拮抗させている。バージョンアップを躊躇しないので、常に新しいバージョンができていく可能性あり。

### [Movable Type \(ムーバルタイプ\)](#)

ムーバルタイプは、商用ライセンスと個人ライセンスに別れており、それがムーバルタイプの企業参画を難しくしているとはいえ、ワードプレスと対を成す存在であることは間違いない。

ワードプレス、ニュークリアス、ムーバルタイプの三つ巴の様相を呈しており、ブログ業界はこの三者によってしのぎを削っている状態である。

### [RCMS \(アールシーエムエス\)](#)

youtubeから動画も取り込めるなど、メディア向けのCMS。ホットペッパーなどのサービスから自分のデータを取り込めたりもできる。

他サービスとの連携を躊躇していないため、その用途は高い。ただし、商用でも無料だが、メールマガジンなどの高機能版ではライセンス取得が必要。

### [netcomons \(ネットコモンズ\)](#)

研究者向け、教育向けを前提にXOOPSから派生したCMS。しかし、現在は別の手法で構築されている。初期のデザインやインストール方法はxoopsと同じ雰囲気を持つ。

新着情報管理や動画配信に優れており、なかなかの機能を誇るCMSである。

## よくあるライセンス

---

### ①GPLライセンス

配布、改造を自由しているライセンス。ただし、派生作品もGPLでなければならない。

### ②商用ライセンス

企業が使うときのみお金がいるライセンス

### ③高機能ライセンス

高い機能を付属した別バージョンを買わせるためのライセンス

### ④phpライセンス

⑤phpの発展のための改造なら自由だったり、サイトによってそれぞれの捉われ方がある

### ⑥著作権表示ライセンス

著作権を表示すれば無料でokというライセンス。著作権を取るには有料で払わなければ成らない。なお、商用には事業者登録をしないとイケないのが大半。

## 決済サービス導入

---

決済サービス導入は難しくて値段がかかるなどというデマが多く、ショッピング構築用サービス販売サイトから流されているが、そんなに割りと値段はかからない。

以下に述べる決済手段がもっとも安全で有名なのでその決済サービスをCMSに導入しよう。

### [ルミーズ](#)

三パターンのプランを駆使し、日本で上位を争う決済手段サービス。個人事業主も可能ということで、人気を集めている。

コンビニ決済、郵送代行、電子マネー決済、クレジット決済に対応。個人事業主は月額、初期費用無料キャンペーンが何回かに分けて行われており、中小企業や個人店に有利となる。

### [イpsilon](#)

月額最低手数料は2000円台だが、それ以外の費用を格安または無料で抑えている。多決済に対応しており、個人事業主プランもある。

手数料をとらないサービスが多いため、手数料を気にしている方に対しては有利だ。

### [NP後払い](#)

後払いに長けた決済手段。別段「配達」だけというわけでもなく、決済手段は豊富である。前払いシステムから後払いシステムに変わっただけの様な感じであり、後払い専用。

### [クロネコヤマト](#)

猫もパソコン事業に興味を持ったのか、電子決済サービスをはじめている。町でおなじみの方が多いため、信頼感は抜群。NP後払いと連携している。

### [ペイパル](#)

日本でも有名になってきているが、主に外国向けの決済手段。導入は会員登録でいいが、多くの金額を銀行に移動させると停止してしまうという報告があり、今は大分改善されている模様。

### [SMBCファイナンスサービス](#)

三井住友銀行直属の多手段決済サービスであるため、信頼性とともにより三井住友銀行各種サービスとの連携が可能のようである。

### [ゼウス](#)

神の名を持つ多機能決済サービス。ギリシャとは名前以外何の関係もない。多数の実績があり、よくよくルミーズやイプシロンと比較されている。

これらの決済サービスにおいて注意すべきなのはウェブマネーなどの電子決済の導入であり、個人事業主の場合はウェブマネーを導入できない可能性がある。なぜなら、ウェブマネーの会社が電子マネーの導入を法人にのみ提供しているからだ。

## サーバー改造について(1)

---

サーバー改造を行うには「専用サーバー」「自宅（自社）サーバー」「vps（バーチャルプライベートサーバー）」のどれかである必要がある。

OSはsshが使えるリナックスとアパッチのコンボがよく、改造時に戻しやすい「レンタルサーバーのvpsが提供しているroot 権限」だと、よりよい改造が行えるだろう。

root権限を譲渡されたユーザーは自由に変更ができるが下手をすればosの再インストールをしなければならなくなる。かといってレンタルサーバー業者がどこまで変更していいという制限がないため、極限にまでパフォーマンスを高めることができる。

sshはリナックスサーバーでコマンドを使って変更する機能（または概念）であり、常日ごろからウインドウズビスタなどを使っている方にはちとに苦い思いをするかもしれない。

かくいう私も一ヶ月以上苦戦してやっと改造が普通にできるようになったウインドウズ派なので人のことをいえないが、

今はメモリリミットなどもそこらのリナックス常習者と同じように変えることが可能になった。

## サーバー改造について(2)

---

サーバー改造にはSSH接続を行う。ウィンドウズサーバーなどでは自分で管理できるが、アパッチだとファイルをいちいち編集しなくてはならない。

SSHはコマンド入力システム兼FTPシステムとっていい。敵を操るコマンドではなく、リナックス系を操るコマンドを入力できる規格である。

右、左、などと入力するよりも難しいが、慣れてしまえば、サーバーで変更する箇所は少ないので、6分くらいで済むだろう。

自宅サーバーでリナックスをやっている場合は、実際のところSSH接続を使わなくてもリナックスのコマンドを入力すれば済む話で、リナックス上級者は、自宅サーバーの場合はあまり関係がない。

多くのポートは閉ざされており、ファイヤーウォールに危険として認識される外部接続の部類に入るので、それを使うにはファイヤーウォールにSSHポートの監視を解除させるようにしなければならなくなる。

でもって、共有サーバーはSSH非推奨。ただし、SSH接続はサポートしていないが接続はして良いところもある。ただし、失敗すればサーバーの破滅になるから、安いサーバーで練習したほうがいい。